校訓　・・・一所懸命

昭和中だより

◎【学校教育目標】
『自ら学び　真剣に働く
心豊かで　たくましい生徒』

○《目指す学校像》
生徒が「学びたい」、保護者が「通わせたい」
教職員が「勤めたい」、地域が「応援したい」
活力のある元気な学校

１１月号

加須市立昭和中学校
令和４年１１月４日

達成感と大きな感動とともに・・・第73回昭和中体育祭が終了！見事に「昭和中生の底力」を体現!!

秋空の下、令和４年度第７３回昭和中学校体育祭が、達成感と大きな感動とともに無事終了しました。今年度の体育祭は、マスク着用での開閉会式など、幾つかの制限はありましたが、ほぼコロナ禍前と同じような日程で実施することができました。当日は、県議会議員さんや市議会議員さんを始め６０名を超える御来賓の皆様に御臨席いただき、また、設置者として市長さん、主催者として教育委員会から教育長さん、教育委員さんが参観に来られ、生徒が本気で、競技や応援、係活動に臨む姿をご覧いただきました。

生徒達は、コロナ禍の中、限られた時間や制限の少なくない中での練習や準備となりましたが、課題に正対し、何とかしようと本気で努力しました。１週間前の全体練習の際、特に開閉会式での一連の動きに対し、私は**「そんなもんか、昭和中学校の体育祭？！」**と活を入れました。しかし、練習を重ねる毎に、代表生徒によるそれぞれの役割での所作、全校生徒による全体の動きにもキレが出てきて、当日はキビキビとした動きの中で、心のこもった素晴らしい開閉会式となりました。また、一日をとおして、３年生は最上級生として自覚し、下級生をリードしながら、自らの競技や仲間への応援、係活動にも、一生懸命取り組みました。その姿をモデルに、２年生・１年生も、競技や係活動に集中して取り組むことができました。そのためか、競技に対しては、どの学年においても、順位に関係なく最後の最後まで全力でゴールを目指しました。本気で取り組む生徒の姿に胸が熱くなりました。

生徒達は、校内音楽会に続き、この体育祭への取組を通して、約３年間、コロナ禍対応のため抑え気味にせざるを得なかった「昭和中の文化」を確実に再起動させました。

＜校長あいさつ＞：一部抜粋

・・・私達はこのコロナ禍において、改めて、行事一つをとっても、計画通りに普通にできることの有り難さを痛感しました。今日は、ほぼコロナ禍前と同じような内容での体育祭を開催できることに感謝しながら、短期間でしたが、集中して取り組んできたこれまでの練習の成果を発揮しましょう。今年度の体育祭のスローガンは、「百花繚乱（ひゃっかりょうらん）～勝利の先の大輪の花～」です。作成者の安藤　凜（りん）さんは、みんなが体育祭を楽しめて、笑顔になることをたとえて、このスローガンを考えたそうです。今、ここにいる誰もが、「笑顔溢れる最高の体育祭にしよう」と思っていることでしょう。そのためにも、自分のために、仲間のために、競技・応援・係としての仕事に対し、一生懸命に取り組んでいきましょう。そのことが、自分で達成感を味わうことができ、見ている人に感動を与えるのです。そして、それが何よりかっこいい姿なのです。とりわけ、３年生は、小学校の卒業式前から約３年間、何かと制限が多い学校生活の中で、我慢を余儀なくされました。この体育祭が、中学生として最後の体育祭となります。自分のために、クラスのために、そして各団の下級生のために、持てる力を精一杯発揮してください。そして、昭和中における運動面での伝統・文化を繋いでください。間もなく開幕です。閉会式には、**「どんなもんだい！！昭和中学校の体育祭！！」**と胸を張って終われるように頑張りましょう。**『燃えろ　熱く！！　頑張れ　昭和！！　頑張れ　昭和健児！！』**

＜校長指導講評（含お願い）＞：一部抜粋

・・・今**「どんなもんだい！！昭和中学校の体育祭！！」**と胸を張って言えるかどうか、各自が自分に確認してみてください。校長先生は、生徒が本気で取り組んだ立派な体育祭だったと思います。

・・・改めて、昭和中生は、「やるべき時にできる生徒」「失敗しても、何とか挽回しようと努力できる生徒」であることを再確認しました。最後に今日は一つだけ皆さんにお願いというか、宿題を出します。それは、「感謝」についてです。今日家に帰ってからでもいいのでじっくり考えてみてください。誰にどう「感謝」をすべきかしっかり考え、今後の学校生活に生かしてください。・・・短期間に集中して取り組んだ第７３回体育祭。達成感と大きな感動とともに、見事にやり切りました。お疲れ様でした。

保護者の皆様、最後まで熱い応援をありがとうございました。

＜校長　杉田　勝＞

【学年別クラス対抗の結果】

	優　勝	２　位	３　位
１　年	６　組	１・４組	――
２　年	３　組	２　組	５　組
３　年	１　組	３・４組	――

【団対抗の結果】

優　勝	２　位	３　位
１組団	２組団	６組団
１－１	１－２	１－６
２－１	２－２	３－６
３－１	３－２	

教育情報・・・読書週間（10月27日～11月9日）真っただ中

先月末から、令和４年（２０２２年）第７６回の読書週間に入っています。今年の読書週間の標語は、『この一冊に、ありがとう』です。読書週間には、読書の推進を目指した様々な行事が集中的に行われます。では、なぜ読書の推進を目指すのでしょうか。それは、様々な本を読むことによって、多くの言葉が身に付き、言葉の表現力を豊かにすることができるからです。そして、それらにより、人とのコミュニケーション能力を向上させることができるからです。また、一人の人間が生活する範囲は限られているので、その中で出会う人や触れ合う体験も限られますが、読書によって、この限られた世界を広げ、新たな世界への扉を開くことができます。４年前の文化庁の調査「国語に関する世論調査」によりますと、１ヶ月に１冊の本も読まない人は、国民の約半数に上るのだそうです。昭和中では、担当の先生が、毎月新刊も含め様々な図書に関する情報を生徒一人一人に紙面で提供していますが、実際の昭和中生の読書量はあまり多いとは言えないようです。

あまり構えずに、今興味のあるものについての本に触れてみてはいかがでしょう。校長先生も、先日この読書週間を意識し、３冊の本を買ってきました。「日清・日露戦争史の真実」、「眠れないほどおもしろい吾妻鏡」、「頭のよさは国語力で決まる」です。

秋の夜長の読書、いかがですか？

日	曜日	学校行事等
１	火	生徒会本部役員引き継ぎ式
２	水	二者三者面談期間（２５日まで）、歯磨き指導
３	木	文化の日
４	金	
５	土	
６	日	
７	月	学校集金等引落日、専門委員会
８	火	脊柱側彎健診（１年）
９	水	避難訓練、学習の日、巡回指導
１０	木	東部地区学力検査（３年）、ふれあい講演会
１１	金	
１２	土	
１３	日	
１４	月	県民の日
１５	火	
１６	水	交通安全講習会（１年）、学習の日
１７	木	臨時歯科健診
１８	金	
１９	土	テスト前部活中止
２０	日	テスト前部活中止
２１	月	テスト前部活中止
２２	火	期末テスト、テスト前部活中止
２３	水	勤労感謝の日、テスト前部活中止
２４	木	期末テスト
２５	金	
２６	土	
２７	日	
２８	月	
２９	火	表彰朝会、保育実習（３年））
３０	水	ＩＣＴ活用に係る数学授業研究会、保育実習（３年）